

禅の至宝、今ここに

大永平寺展

平成27年 10月2日[金]—11月8日[日]

【開行】 10月17日(土) 11時～12時 開館 30分前まで ※10月2日(金)のみ正午開館。
【観覧料】 一般1,000円(団体800円)、大・高生700円(団体560円)、中・小生500円(団体400円)
【会場／主催】 福井県立美術館「特別協力」大永平寺
【共催】 福井新聞社、FBC福井放送、福井テレビ「後援」福井県教育委員会、永平寺町、(社)福井県文化協議会



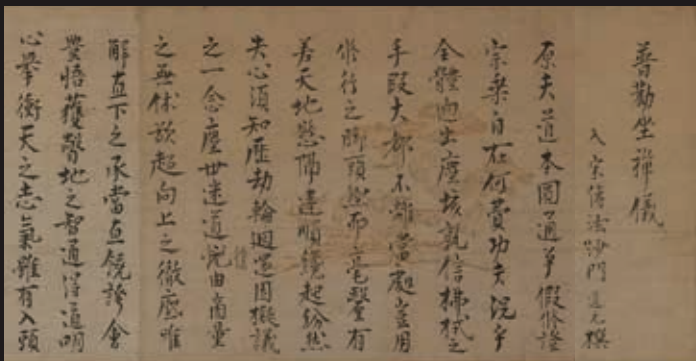
(挿図3)「伽藍神像 監齋使者立像」鎌倉時代(13世紀)

第1章 道元禅師と永平寺のあゆみ

第1章では、道元の著作やゆかりの品々を通して、その人と思想、永平寺のあゆみを紹介します(挿図1)。道元は公家の出身で、13歳で出家して比叡山に上りますが、18歳で京都建仁寺で榮西禅師の高弟明全に師事します。その後24歳で求法のため入宋した道元は、やがて天童山の如浄禅師と出会い、「身心脱落」の境地に達します。その後、28歳で帰国、禅の教えを広めることに邁進します。しかしながら、その名声が次第に広まるにつれて、旧仏教からの弾圧に遭います。そして、寛元元年(1243)、その拠点京都から越前志比庄(現福井県永平寺町)へと移し、永平寺を建立しました。

◎ 道元ゆかりの品々

道元の思想において根本になるのは坐禅の実行です。その思想を端的に示しているのが、道元直筆の「普勸坐禅儀」です(挿図2)。これは、坐禅の意義や方法を示しており、現在国宝に指定されている大変貴重な書です。その謹直な字には、修行に対して厳格な姿勢を貫いた道元の人格が窺えます。



(挿図2)「国宝」道元筆「普勸坐禅儀」一巻 鎌倉時代・天福元年(1233)

◎ 躍動する鎌倉彫刻！

度重なる火災を潜り抜けてきた永平寺には、鎌倉時代までさかのぼる彫刻が数点伝わっています。なかでも「監齋使者立像」(表紙・挿図3)の左足をけり上げて走る姿は躍動感に溢れています。

曹洞宗の大本山永平寺は、鎌倉時代の寛元2年(1244)に開祖道元禅師(1200～53)が、越前志比庄(現福井県永平寺町)に創建した禅の修行道場です。老樹の茂る清閑とした境内には山門、僧堂、仏殿、法堂といった七堂伽藍が建ち並び、多くの僧が修業に励む根本道場として、770年以上の歴史と、多くの文化財を伝えてきました。

本展覧会は、道元を代表する著作で直筆の「普勸坐禅儀」(国宝)を始めとするゆかりの品々に、歴代禅師の肖像画(頂相)や山内の建物を飾る掛軸や襖絵、そして仏像や工芸など、初公開資料を含む秘蔵の名宝約100点を一堂に展示します。鎌倉時代から現代にいたる貴重な文化財を通して、永平寺の歴史と受け継がれた美を紹介します。



(挿図1)「道元禅師像」一幅 室町時代(16世紀)

第2章 永平寺の名宝

大本山永平寺は、創建以来、度重なる火災や、一向一揆の戦火に遭いながらも、そのたびに復興され現在まで貴重な宝物を伝えてきました。本章では、770年の長きにわたって守り伝えられてきた永平寺の名宝を紹介します。

◎ 狩野探幽晩年の瀟洒な花鳥画

縦150cmを超える大幅に、梅に金鶏鳥、柳に白鷺、紅葉に白鷗、雪松に鶴など、四季それぞれの花木や鳥を描いた四季花鳥図の四幅対(挿図4)。作者は江戸狩野の確立者で、瀟洒な画風でそれまでの狩野派を一変させた狩野探幽(1602～74)。本作は、亡くなる二年前に描かれた探幽最晩年を代表する作品として見応え十分です。



(挿図4)狩野探幽「四季花鳥図」四幅 江戸時代・寛文12年(1672)

◎ 寺崎廣業の絶筆！

明治後期から大正前期の日本画壇を代表する日本画家・寺崎廣業(1866～1919)が、亡くなる年に描いた畢生の大作です(挿図5)。連峰の雄大さ、屹立する山なみが的確に捉えられ、金地に鮮やかな群青が映える良作です。



(挿図5)寺崎廣業「ヒマラヤ図」六曲一双 大正8年(1919)

本章では、明治維新後の永平寺の動向について、近現代日本画家との交流を中心に紹介していきます。画家たちは、禅師との交流を通して、あるいは大遠忌の記念事業の一環として多くの作品を山内に残しています。永平寺に伝わる名画の数々をご覧ください。

◎ 伊藤彬と田淵俊夫によるモノクロームの競演

2002年、道元禅師の没後750年を記念して、現代日本画家の伊藤彬氏(襖18面)と田淵俊夫氏(挿図6・襖両面12面)が襖絵を奉納しました。墨の濃淡によって紡ぎだされた静寂な空間、また壮大なテーマ設定のもとに構成された画面は圧巻です。



(挿図6)田淵俊夫「春秋」十二面のうち四面 平成14年(2002)

※会期中展示替があります。※作品はすべて永平寺蔵。

美術館 喫茶室

二ホ

大永平寺展 スペシャルメニュー

「ごまごまプリンパフェ」セット 850 円

永平寺で修行僧たちに貴重なタンパク源として食されてきた「ごまどうふ」にヒントを得た、ごまのスイーツをご用意しました。

黒ごまベースのプリンに口どけのよいごまのケーキとアイスクリームをトッピング、好きな飲み物とセットでどうぞ。

Contact

美術館喫茶室 二ホ

open : 9 時～19 時

closed : 月曜日

tel : 0776-43-0310 *無料 Wi-Fi*

address : 〒910-0017 福井市文京 3 丁目 16-1 福井県立美術館 正面左手

※美術館が休館でも、月曜日以外は営業しております。